

1 人口の将来推計

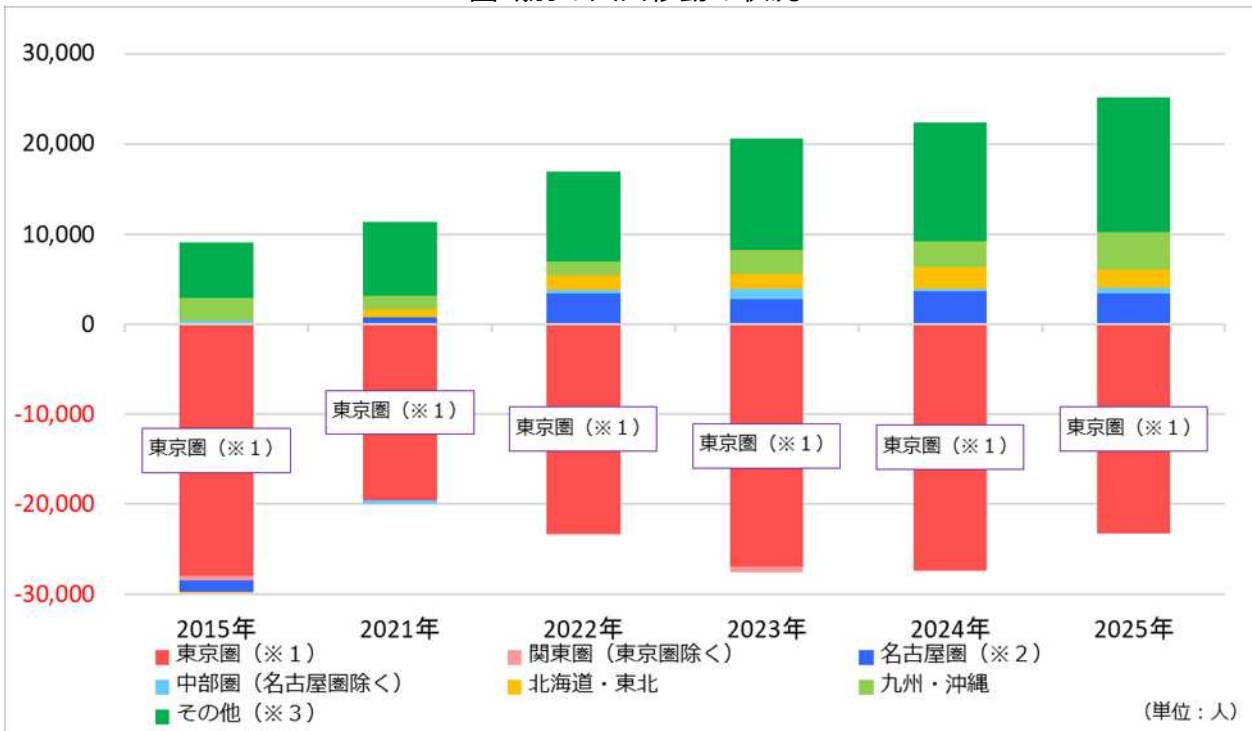
関西圏域の転入超過数（総人口）

- ・これまで関西圏域では転出超過が続いており、2020年以降は転出超過数が概ね横ばいで推移していたが、2025年は僅かに転入超過となった。
- ・転出超過の大部分は、東京圏に対するものが占めている。
- ・東京圏及び関東以外の地域からは基本的に転入超過が続いている。

(単位：人)

		2015年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
総数		▲20,689	▲8,603	▲6,407	▲6,983	▲5,092	1,807
内訳	東京圏(※1)	▲27,976	▲19,587	▲23,200	▲26,977	▲27,364	▲23,321
	関東(東京圏除く)	▲505	▲51	▲137	▲592	▲96	73
	名古屋圏(※2)	▲1,272	765	3,370	2,819	3,621	3,289
	中部(名古屋圏除く)	379	▲312	375	1,044	302	710
	北海道・東北	▲33	890	1,652	1,737	2,370	1,994
	九州・沖縄	2,495	1,451	1,506	2,646	2,884	4,179
	その他(※3)	6,223	8,241	10,027	12,340	13,191	14,883

圏域別の人口移動の状況

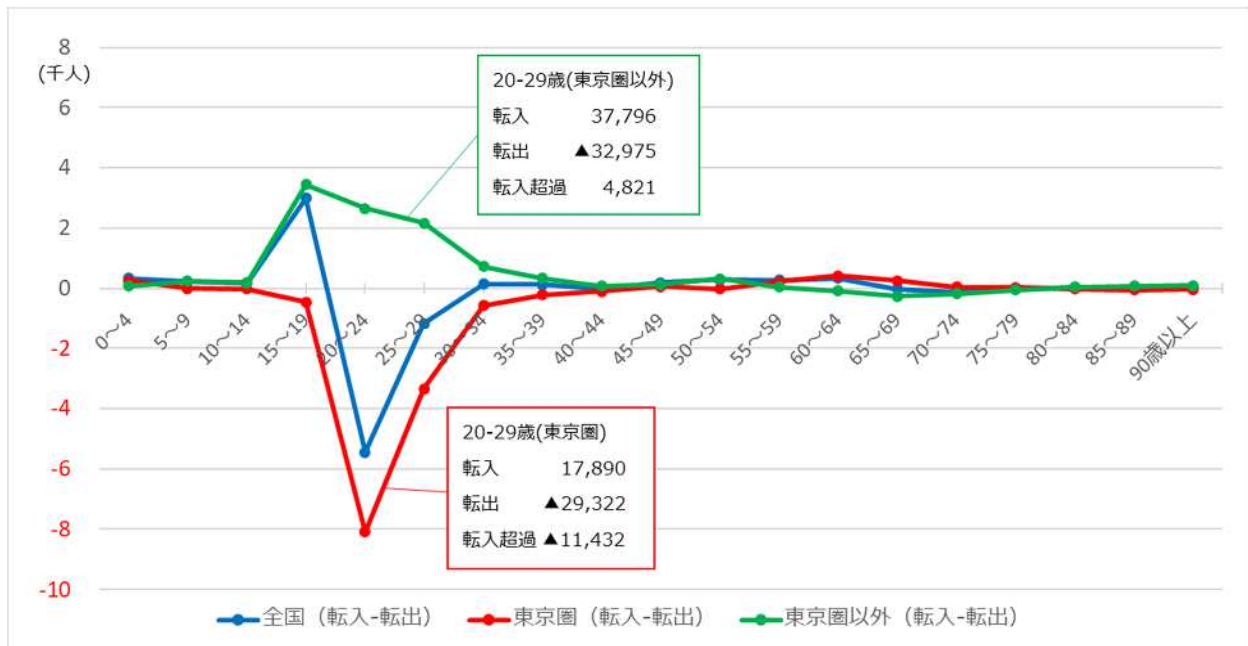


- (※1) 東京圏 : 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 (※2) 名古屋圏 : 岐阜県、愛知県、三重県
 (※3) その他 : 北陸、中国、四国(鳥取県、徳島県を除く)
 (出典) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

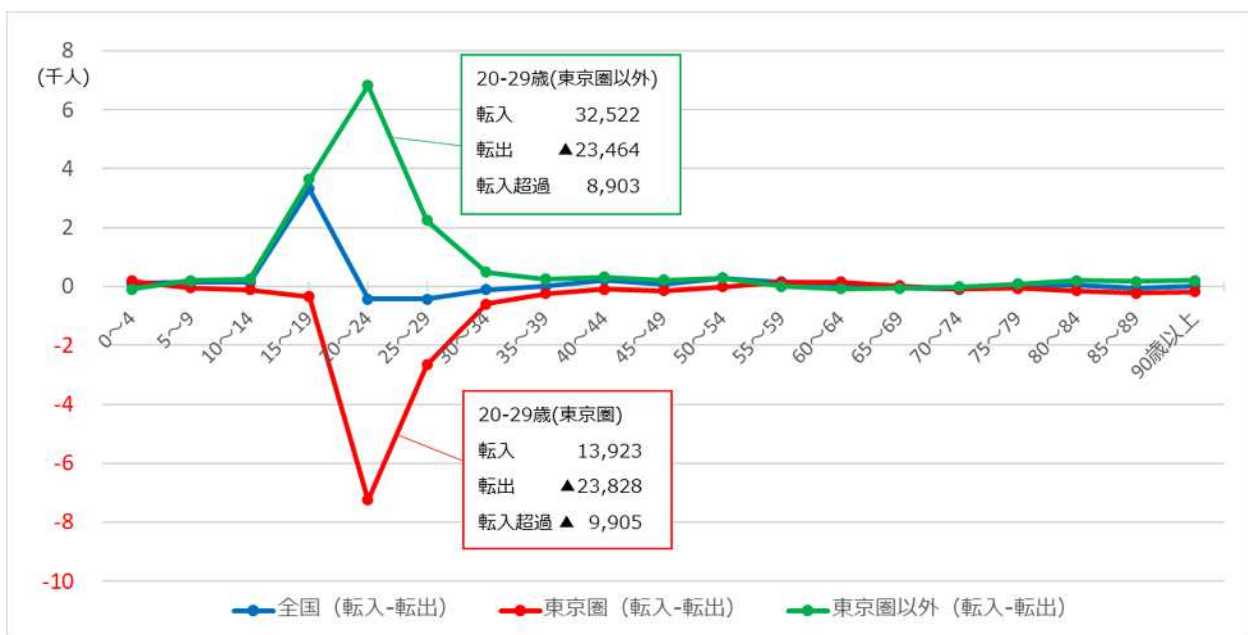
関西圏域の年代別・男女別転入超過数

- 2025年の年代別・男女別転入超過数を見ると、まず10代は、男女ともに転入超過となっているが、対東京圏に限ると転出が超過している。
- 20代は男女ともに、対東京圏での転出超過が顕著であり、転入数、転出数及び転出超過数のいずれも男性の方が多い。一方、対東京圏以外では、男女ともに転入超過である。女性の方が転入超過数が多いが、これは転出数に対する転入数の比率が男性より大きいことによる。
- 30代はやや転出超過となっているが、0歳～9歳及び40代以降は男女ともに転入と転出が同程度となっている。

年代別転入超過数（男性）（2025年）



年代別転入超過数（女性）（2025年）



(出典) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」